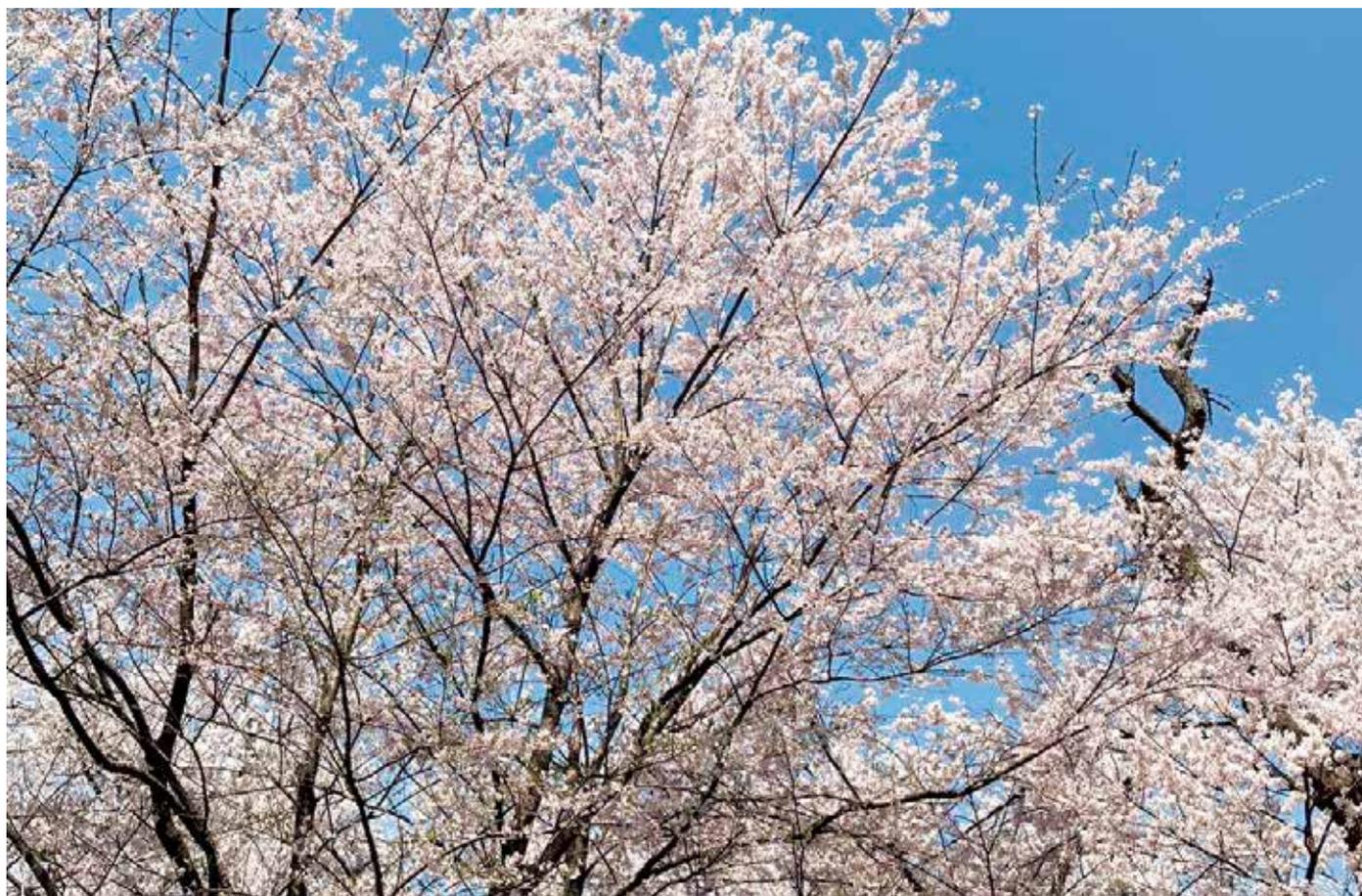


## 地域連携だより

### お知らせ

令和5年4月より、当院は完全紹介予約制となりました。  
初診の患者さんにつきましては、紹介状と病診連携室経由での事前予約が必要です。  
どうぞよろしくお願いいたします。



### —Contents—

- ◆就任のご挨拶
- ◆令和4年度地域医療連携講演会報告
- ◆院内イベントご紹介
  - ・がんの子どもを守る会募金活動
  - ・AYA フラッグ
  - ・ボランティア永年活動表彰式
- ◆連載コラム～薬剤部～
- ◆からだのとしょかん通信
- ◆患者サポートセンターよりご挨拶
- ◆市民公開講座のご案内
- ◆令和5年6月外来診療予定表



## 就任・新年度のご挨拶

院長 田中 洋史



令和5年4月より院長を拝命いたしました。

当院は、新潟県の都道府県がん診療連携拠点病院として、県民をはじめとする全ての患者さんに、最善のがん医療を提供することを基本理念としています。新型コロナウイルス感染症の影響は当院にも及びましたが、患者さん、そして連携・協力ご施設の皆さんのご理解とご協力をいただいたおかげで、がん診療を継続することができました。ここに、改めて心より御礼申し上げます。

がん診療に関する技術は日々進歩、高度化しています。私の専門である肺がん診療においても、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬、低侵襲・縮小手術、高精度放射線治療などの開発、導入の速度は凄まじく、治療選択肢は多様化しています。そのような状況の中で、私たちは、標準的ながん診療を基本に、最新の医療技術を学んで導入し、患者さんにお届けしてまいります。がんゲノム医療の進歩に対応するため、がんゲノム医療センターを設置し、令和2年より、がん遺伝子パネル検査を開始しました。令和4年には待望の手術支援ロボット；ダ・ヴィンチを導入し、負担の少ない手術治療を実施しています。また、最新の機器による高精度の放射線治療を実施するとともに、病院全体で多くの臨床試験や治験に参画し、新しい治療法や治療薬の開発に積極的に取り組んでいます。

一方、高齢化や生活様式の変化の中で、患者さんのご病状や背景、ご希望や思いは様々です。それぞれの患者さんに合わせた治療の個別化、最適化は重要ですが、それは検査結果のみに基づいてなされるものではありません。当院では多職種が協調して、患者さんとそのご家族に寄り添い、多方面から診療を支えています。患者サポートセンターでは、看護師、医療ソーシャルワーカー、臨床心理士など、専門の相談員がお話をうかがい、課題解決のための方法を一緒に考え、総合的な支援を提供しています。

はたらき方改革をはじめ、今後も多くの課題がありますが、当院には、専門的な知識や技術を持ち、熱意と向上心にあふれた多くのスタッフがいます。それぞれが、感謝と尊敬の気持ちを忘れずに、患者さん、そして連携・協力ご施設のみなさんと一緒になって、チーム医療を展開したいと考えております。皆さまに信頼され、期待されるがんセンターであり続けるために、職員一同さらに研鑽を積んでまいりますので、引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。

## 就任のご挨拶

副院長 消化器外科 中川 悟



平素より当院の診療にご助力頂き大変感謝しております。2023年4月に副院長を拝命いたしましたので、ご挨拶申し上げます。

私は1991年3月に新潟大学を卒業し、新潟大学第一外科に入局いたしました。上部消化管を専門とし、外科診療に携わってきました。2005年に当院に赴任し、上部消化管の悪性疾患、特に食道癌を中心に診療しております。私の外科修練の時期は、新しい外科手術が導入・発展した時期でもあります。開腹・開胸の広い手術野から、カメラを通しての鏡視下手術へと移行しました。私自身、2007年から食道癌に鏡視下手術を導入し、少しずつ適応症例を増やし、2015年には日本内視鏡外科学会の技術認定医（食道）を取得いたしました。

消化器外科では年間約300件強の鏡視下手術を実施しており、現在では全手術の約8割が鏡視下手術となっております。2022年11月よりダ・ヴィンチによるロボット支援下手術も開始しております。食道・胃・直腸の分野から導入し、今後は実施術式を拡大して行きたいと思っております。従来の開腹・開胸による手術がなくなったわけではなく、症例によっては実施しております。これまでの経験と継承してきた技術を活かして手術を実施しており、次世代へと受け継いでいきたいと思っております。最新かつ安心できる外科診療を県民の皆様にご提供できるようにスタッフ一同がんばって参りたいと思っておりますので、益々のご支援よろしくお願い申し上げます。

## 令和4年度 地域医療連携講演会 開催報告

令和5年3月2日（木）、がんセンター新潟病院主催の地域医療連携講演会（Zoom オンライン）を開催致しました。

今会の演題は「当院における緩和ケアの提供体制／中島 真人 緩和ケア内科部長」「胃癌治療の最新の動向と当科の取り組み／會澤 雅樹 消化器外科部長」とし、皆様からリクエストの多かった緩和ケアをテーマの一つと致しました。お陰様で多くの医療機関の先生方、医療・介護従事者の皆様にご参加頂き、充実した講演会とすることができました。また講演会後のアンケートでは皆様の貴重なご意見を頂く事ができました。心より御礼申し上げます。

令和5年度講演会も、地域の医療機関の皆様にとって関心の高い内容での企画が出来ればと考えております。開催日時と演題は準備ができ次第、地域連携だより、当院ホームページと医師会会報にてご案内の予定です。今年度も多くの皆様のご参加をお待ちしております。

# 院内イベントのご紹介

## 「AYA 世代」を知っていますか？

AYA（アヤ）とは Adolescent & Young Adult（15～39歳の思春期・若年成人）のことです。AYA 世代患者さんの置かれている状況として、医療費助成や介護など制度面の支援体制が不十分である上、就学や就労、結婚や出産、育児など人生の重要な出来事が治療と重なり、抱える問題やニーズは多岐にわたります。

3/4（土）～3/12（日）に、一般社団法人 AYA がんの医療と支援の在り方研究会が AYA 世代のがんとその課題を社会に発信する啓発週間「AYA week 2023」を開催し、当院はイベント「全国の AYA 世代支援者をつなぐフラッグ作り」に参加しました。AYA 世代患者さんに対する相談窓口PRとともに、一般市民のみなさんに AYA 世代がんの周知・啓発を図ることが目的です。患者サポートセンターは、相談窓口として患者さん個々の状況に応じた支援・情報提供を行うことを目指しています。



## ボランティア永年活動者表彰式を行いました

令和5年3月6日（月）に、ボランティア活動に長年従事された方（対象：活動10年・20年の方）の表彰式を行いました。対象者3名のうち、20年表彰の小児科病棟保育ボランティア小林美弥子様が出席され、佐藤院長から感謝状の贈呈を行いました。

ボランティア活動は患者さんの励みや気持ちの支えとなる大切なものであり、ご尽力されているボランティアの皆様に職員一同深く感謝しています。

当院では、令和2年から新型コロナウイルス感染拡大防止のために、オンライン形式または外来患者さん対象の活動のみ行っています。今後は、感染状況を見ながら活動の幅を広げていく予定です。



左から木村事務長、小川小児科部長、小林様、佐藤院長、竹之内副院長

※令和5年3月時点



## 国際小児がんデーに合わせて

### 啓発活動が院内で行われました

小児がんの子どもがいる保護者でつくる「がんの子どもを守る会新潟支部」が、当院で小児がんへの理解や支援を求める啓発活動を行いました。コロナ流行下は見合わせていた活動ですが3年ぶりに実施され、新潟支部のメンバーらによって、小児がんに関するチラシの配布や募金活動が行われるほか、当院に入院している子どもたちや付き添いの保護者の方々の作品も展示しました。

## 連載コラム 薬剤部

### 第3回 病院薬剤師の病棟での仕事

病棟専任薬剤師とは、

病棟に専任配置された薬剤師として、病棟における薬物療法全般に責任を持つ薬剤師の事です。

☆患者さんに適切な薬物治療が行われ、安心してお薬を使用していただけるように

- 持参されたお薬、市販のお薬、健康食品等の内容を確認します。また、アレルギー歴・副作用歴を確認します。
- お薬の使用前に、疾患や症状、年齢、身長・体重、腎臓や肝臓の機能などを確認し、投与量、投与速度に問題はないか、組み合わせ、飲み合わせに問題はないかを確認します。
- 抗がん剤治療のスケジュール、効果や使用方法、起こり得る副作用とその対処法の説明を行います。
- お薬の効果はあるか、お薬の副作用はでていないかを確認し、医師・看護師へ伝え、お薬の提案をしています。
- 退院時には、内服薬の管理、副作用の対処法やセルフケア等の指導を行います。調剤薬局との連携を目的に、お薬手帳用シールをお渡しします。

【EC療法について(アロリス併用)】  
(エドルピシン+エンドキサン)

お薬の名前と治療のスケジュール (副作用の状況を確認して、治療名称) (飛んでいると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	時間	1日目	2	3	4	5	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
アロリス錠	吐き気止めです	30分																				
グラニセトロン錠 ゾネキサート錠	吐き気止めです	30分																				
エドルピシン錠	抗がん剤です	85分																				
エンドキサン錠	抗がん剤です	90分																				
チカドロン錠	吐き気の予防です	朝夕内服																				
リドゼラム錠 (ロキソニン錠) アラセリン錠 (ドンペリドン)	吐き気の予防です	毎食後																				
追加	吐き気の予防です	毎食前																				

治療による副作用

副作用	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
食欲不振・吐き気	食欲不振や吐き気がすることがあります。食べやすいものを細かく食べ、水分を摂りましょう。																					
出血性膀胱炎(血尿・排尿痛)	排尿時の不快感、尿に血が混ざるなどの症状があるときはお知らせください。																					
口内炎	口の中が腫れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																					
色素沈着	肌が黒ずむことがあります。基礎化粧品などを用いて、日焼けなど紫外線には注意してください。																					
脱毛(頭皮・まつ毛・眉毛など)	脱毛が少し変わることがありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																					
白血球減少	感染しやすくなりますので、手洗いやうがいをお願いします。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
赤血球減少(貧血)	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。毎朝に検査しましょう。																					
血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やぶどうがたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。毎朝に検査しましょう。																					
心機能低下(治療回数が増えると生じることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)																						

代表的な副作用

- 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- 上の薬は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りには限りません。
- それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

新潟県立がんセンター新潟病院 薬剤部

図：抗がん剤治療のスケジュール表の例(株式会社じほう がん化学療法ワークシート第5版(池末裕明、伊藤善規、大石了三・編)付録服薬指導シート改変)

# からだのとしょかん通信

“今、この瞬間”を大切に ～マインドフルネス～

精神科 小林 真理

コロナ禍の生活も3年が経過し、先の見通せない状況が長期化する中、気づかぬ間にストレスや疲れを抱え、心身に不調を感じることはないでしょうか。

マインドフルネスとは、「今、この瞬間」を大切に生きていくことであり、ストレスの緩和、集中力や免疫力の向上などの効果が得られることから、Google や Apple などの大企業が社員研修の一環として導入しました。医療分野では、マサチューセッツ大学医学部名誉教授のジョン・カバットジン博士が慢性の痛みとの共存を目的とした「マインドフルネスストレス低減法」を開発し、これを機に、マインドフルネスは世界中に普及しました。

マインドフルネス(mindfulness)は仏教に由来し、その語源は仏教の経典で使われる古代インド語の「サティ(Sati)」とされ、「こころをとどめておくこと」あるいは「気づき」などの意味があります。マインドフルとは、「良い・悪い」などの価値判断をすることなく、完全に“今、この瞬間”に注意を向けているこころの状態」を指します。

私達は普段、周囲の出来事に自動的に反応したり、過去の出来事や未来の不安などに囚われとりとめなく考えたりしがちです。“今、この瞬間”に意識を向けると、外部の出来事に気をとられなくなるため、こころが穏やかになり洞察力が高まります。また、自分の今の状態がどのようなものであれ、評価や判断をせずに受け入れてありのままにいられるようになると、出来事や自分の状態をはっきりとみて適切に対応できるようになると考えられています。

マインドフルな状態になるための実践方法としては、呼吸法(リラックスした体勢で意識を呼吸に集中する)が基本となりますが、目の前の景色や音、あるいは移動中の歩行や食事、会話などに意識を向け集中することで、日常生活にも気軽に取り入れることができます。

マインドフルネスは、自分に関わるすべての状況をありのままに受け入れ、“今、この瞬間”に意識を集中させることで脳を休ませる方法です。また、雑念に気づいて解放するトレーニングでもあり、さまよう思考が減るので脳が疲れを感じにくくなります。

忙しい毎日のちょっとしたスキマ時間に、自分自身と向き合ってみてはいかがでしょうか。



参考:ジョン・カバットジン著 春木豊訳:マインドフルネスストレス低減法. 北大路書房. 2007

分かりやすい医学情報を集めた「からだのとしょかん」は新型コロナウイルス感染症対策をしながら開館中です。

「からだのとしょかん通信」は2か月に1回、偶数月に発行しています。外来(待合ホール)、薬局、からだのとしょかん前の3か所に置いています。ご自由にお持ち帰りください。

# 患者サポートセンター新年度のご挨拶

患者サポートセンター 副センター長 松井 園子

平素より患者サポートセンターの運営につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この4月の異動により県立新発田病院より転勤してまいりました松井園子と申します。県立がんセンター新潟病院には5年ぶりの勤務になりますが、地域の皆さまとの連携をはかる部署での勤務は初めてとなりますので、至らぬ点もあるかと存じますが、ご指導いただければ幸いです。

新型コロナウイルス感染症もいよいよ5月8日から感染症法上の位置づけにおいて5類に移行となり、一層ウィズコロナの状況となってまいりました。今までのオンラインでのカンファレンスや研修のスキルを活用しながら、一方で実際にお会いしての顔の見える関係作りも合わせて行ってまいりたいと思います。

また、今年度も昨年度に引き続き、在宅医療研修会を実施予定ですので、当方の地域連携だよりやホームページをご確認いただきながら、ぜひ皆様のご参加をお願い申し上げます。



患者サポートセンタースタッフ

(前列右:松井副センター長、前列左:倉田 MSW)



病診連携担当スタッフ

倉田果歩

(医療ソーシャルワーカー)

4月から患者サポートセンターに配属となりました倉田と申します。

当院の西5病棟を担当させていただきます。

患者さんやご家族の気持ちに寄り添い、お力になれるよう努めて参ります。

どうぞよろしくお願いいたします。



Youtubeにて動画配信中!

第25回市民公開講座の「からだにやさしい」がん治療の最新情報

1 からだにやさしい手術治療・・・臨床部長・がんゲノム医療センター長 中川 悟

2 からだにやさしい放射線治療・・・放射線治療科部長 松本 康男

3 からだにやさしい薬物療法・・・副院長 田中 洋史

4 からだにやさしい内視鏡治療・・・副院長・がん予防総合センター長 小林 正明

5 がんの治療と仕事～両立支援～・医療ソーシャルワーカー 上山 裕美

当院ホームページ <https://www.niigata-cc.jp/> から御視聴いただけます。



1:35 / 3:40



新潟県立がんセンター新潟病院 令和5年6月外来診療予定表

		月	火	水	木	金
内科 (金曜循環器は新潟大学より)	401診	栗原 太郎(血液)	小方 則夫(消化器)	廣瀬 貴之(血液)	栗原 太郎(血液)	小山 建一(呼吸器)
	402診	大倉 裕二(循環器)		大倉 裕二(循環器)	石黒 卓朗(血液)	今井 洋介(血液)AM 森山 雅人(血液)PM
	501診		谷 長行(糖尿病)	谷 長行(糖尿病)		谷 長行(糖尿病)
	502診	今井 径卓(消化器)	大山 泰郎(内分泌)	堀 亜洲(消化器)AM	大山 泰郎(内分泌)	渡邊 広樹(呼吸器)
	601診	田中 洋史(呼吸器)		三浦 理(呼吸器)	高橋 祥史(消化器)	三浦 理(呼吸器)
	602診	塩路 和彦(消化器)	富吉 圭(消化器)AM	小林 正明(消化器)	塩路 和彦(消化器)	加藤 淳(循環器)AM 米山 晋太郎(循環器)PM
	201診	(呼吸器内科医師)		梶原 大季(呼吸器)		馬場 順子(呼吸器)
完全紹介予約制です						
内科新患予定表は下段を参照してください。						
小児思春期 血液腫瘍科	1 診	小川 淳	渡辺 輝浩	笠原 靖史	小川 淳	渡辺 輝浩
	2 診			中野 貴明	長期フォローアップ外来	笠原 靖史
完全紹介予約制です						
乳腺外科 消化器外科	1 診	神林 智寿子(乳腺)	藪崎 裕(胃)	野村 達也(肝胆膵)	瀧井 康公(大腸)	中川 悟(食道・胃)
	2 診	金子 耕司(乳腺)	會澤 雅樹(胃)	高野 可赴(肝胆膵)	丸山 聡(大腸)	番場 竹生(食道・胃)
	3 診	五十嵐麻由子(乳腺)	福田 進太郎(胃)	神林 智寿子(乳腺)	野上 仁(大腸)	
	4 診	成瀬 香菜(乳腺)		瀧井 康公(大腸) 山井 大介(肝胆膵)	青木 亮太/田中 花菜 /三輪 矢真人(大腸)	青木 真(食道・胃)
	予防検診-乳腺		金子 耕司	五十嵐 麻由子	神林 智寿子	(乳腺外科担当医)
完全紹介予約制です						
がんゲノム外来 毎週金曜日 午後						中川 悟(PM)
完全紹介予約制です						
呼吸器 外科	1 診	予約のみ	青木 正	予約のみ	予約のみ	青木正 (AM10時~)
	2 診		岡田 英			岡田 英
完全紹介予約制です						
骨軟部腫瘍整 形外科	1 診	第2,4週 畠野	山岸 哲郎(AM)		山岸 哲郎	柳橋 和仁
	2 診	柳橋 和仁			畠野 宏史	畠野 (1, 3, 5週) 山岸 (2, 4週)
完全紹介予約制です						
脳神経内科 (新潟大学より)		二宮 格		小出 伸		
精神科 (午前のみ)			小林 真理		小林 真理	小林 真理
* 当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
腫瘍内科 (毎週火曜午後のみ)			周 啓亮(PM)			
* 当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
脳神経外科	1 診	高橋 英明		五十川 瑞穂	高橋 英明	五十川 瑞穂
	2 診	五十川 瑞穂		高橋 英明	五十川 瑞穂	高橋 英明
	3 診					
婦人科	1 診	田村 亮	菊池 朗(AM)	菊池 朗	西川 伸道	山口 雅幸
	2 診	榎谷 直寿	山口 雅幸	田村 亮	山口 雅幸(AM)	榎谷 直寿
	3 診	予約のみ	笹川 基 (AM)	遺伝性乳がん・卵巣がん外来 (大学・西野)		予約のみ
完全紹介予約制です						
皮膚科	1診(主に新患)	高塚 純子	勝海 洸司	竹之内 辰也	北山 祥平	勝海 (1, 3, 5週) 北山 (2, 4週)
	2診(主に再来)	勝海 洸司	竹之内 辰也	高塚 純子	高塚 純子	竹之内 辰也
	3 診	北山 祥平	北山 祥平	勝海 洸司	勝海 洸司	北山 (1, 3, 5週) 勝海 (2, 4週)
泌尿器科	1 診	谷川 俊貴	山崎 裕幸	斎藤 俊弘	斎藤 俊弘	谷川 俊貴
	2 診	小林 和博	石川 晶子	小林 和博	石川 晶子	山崎 裕幸
完全紹介予約制です						
眼科	1 診	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭
	2 診			佐藤 敬子(AM)	佐藤 敬子(AM)	佐藤 敬子(AM)
頭頸部外科	1 診	大滝 耕平(再診)	山崎 恵介(新患)	予約のみ	山崎 恵介(再診)	高嶋 惇(新患・再診)
	2 診	田中 亮子(新患)	田中 亮子(再診)		大滝 耕平(新患)	
	3 診	予約のみ	予約のみ		第2,4予約のみ	
完全紹介予約制です						
放射線 治療科	1 診	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫	鮎川 文夫
	2 診	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男
	3 診	田中 研介/金本 彩恵	田中 研介/金本 彩恵	田中 研介/金本 彩恵	田中 研介/金本 彩恵	杉田 公/金本 彩恵
* 完全紹介予約制です。						
麻酔科	1 診 (ペインクリニック)	富田 美佐緒 高松 美砂子	富田 美佐緒 高松 美砂子	富田 美佐緒(再診のみ)	高松 (1, 3, 5週) 富田 (2, 4週)	富田 美佐緒 (1, 3, 5週) 高松 美砂子 (1, 3, 5週)
	2 診(漢方外来)	渋江 智栄子		渋江 智栄子	渋江 智栄子	渋江 智栄子 (2, 4週)
	術前		阿部 崇			
* 完全紹介予約制です。						
形成外科		2,4週 13~14時(再来)		坂村 律生	坂村 律生	
緩和ケア科	AM/PM	本間 英之	中島 真人	本間 / 中島	生駒 美穂	太田 久幸
* 当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。* 原則新患 1 日 2 名になります。新患依頼は外来へお問い合わせください。						
歯科口腔外科 (日本歯科大学より)		AM/PM	AM/PM	AM/PM	AM/PM	AM/PM
* 当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。						
内科新患予定表						
内科新患	101診					
	102診					
	6/5	三浦(呼吸器)	6/6 栗原(血液)高橋(消化器)	6/7 今井(経)消化器	6/8 馬場(呼吸器)富吉(消化器)	6/9 塩路(消化器)
	6/12	小林 正明(消化器)	6/13 小山(呼吸器)石黒(血液)	6/14 渡邊(呼吸器)大山(内分泌)	6/15 廣瀬(血液)大倉(循環器)	6/16 梶原(呼吸器)堀(消化器)
	6/19	三浦(呼吸器)関(血液)	6/20 栗原(血液)高橋(消化器)	6/21 今井(経)消化器	6/22 馬場(呼吸器)富吉(消化器)	6/23 塩路(消化器)
	6/26	小林 正明(消化器)	6/27 石黒(血液)小山(呼吸器)	6/28 渡邊(呼吸器)大山(内分泌)	6/29 大倉(循環器)廣瀬(血液)	6/30 梶原(呼吸器)堀(消化器)

新潟県立がんセンター新潟病院 患者サポートセンター(地域連携部門)

TEL:025-234-0011 FAX:025-234-0022 受付時間 月~金 8:30~18:30

がんセンター新潟病院 URL: <http://www.niigata-cc.jp>

時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます